

## 平成29年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史)科目：(日本史) 対象：(第2学年A組～F組)

科目担当者：(A組:吉印)(B組:印)(C組:印)(D組:印)(E組:印)(F組:印)

教科・科目の指導目標	歴史に対する興味や関心を生徒に喚起させるような教材や材料をとりあげて具体的な歴史像を把握させながら、グローバルな視点から日本の歴史の大きな流れを理解する基礎的知識と思考力を培う。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	歴史用語を解答する問題の正答率が高いことから、基礎的な歴史の知識はかなり持っていることがわかる。しかし、そのような歴史的知識は、大きな流れの中で捉えられておらず、整理されていないので、歴史的思考力が十分でない。また、文献史料の読解力、地図や年表、グラフなどの読み取り、その他のさまざまな資料を複合的に理解し、論理的に思考する力、そしてそれを表現する力にも課題があることが、入試の記述式問題の正答率の低さからうかがえる。	①原始・古代から現代にいたる日本の歴史の概略をグローバルな視点から把握させる。 ②歴史的な背景や因果関係を重視する授業の展開を推進し、歴史的な思考力を培う。 ③視聴覚教材など五感に訴える教材を使用することで、具体的な歴史像を把握させ、歴史に対する興味や関心を高める。 ④現代社会の諸問題との関わりについてふれ、考察させる。	①プリントなどを使用して、学習内容を整理し、基礎的な知識の定着をはかる。 ②視聴覚教材をはじめとするさまざまな教材の開発や工夫、研究につとめる。 ③考えさせ、自己表現力を培うことをめざす試験問題(記述式問題)を作成する。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			